

学校だより

令和6年11月5日



いちよう

目指す学校像

生徒一人一人の力が伸びる学校

新座市立第三中学校

〒352-0015 新座市池田1-1-1

TEL (048) 479-4052 FAX 482-0133

「Sign」を見逃さない

校長 石田 和男

ようやく秋が感じられるようになりました。読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋など「秋」にまつわるさまざまな言葉がありますが、一方で子供たちが落ち着かなくなる時期でもあります。学校の大きな行事がひとつまたひとつと終わることで、子供たちは具体的な目標を見つけにくくなり、子供がもち合わせているエネルギーが別の方向にいつてしまうのが一般的な原因だと言われています。そのひとつに「いじめ問題」があります。埼玉県では、毎年11月を「いじめ撲滅強調月間」と定め、いじめ問題を根絶していくための啓発活動に取り組んでいます。特に中学生は、注視が必要です。なぜならば、子供たちは、学校であったこと、楽しかったこと、嫌なことなどだんだん家庭で話さなくなるケースが多いからです。話すこと自体、面倒だと感じる子もいれば、親にかかわってほしくない、心配をかけたくないという思いなど、複雑に思いが絡み合っています。



本校では、毎月生活（いじめ早期発見の）アンケートを実施し、子供たちの訴えに耳を傾けて対応しています。いじめは受けている子が「心身の苦痛を感じているもの」と定義されています。これは、日常的にありうるものなのです。集計した数が減少していたとしても、子供自身が苦痛を抱え込んでいる可能性はあるのです。学校としては子供のちょっとした変化にも気を配り、目をかけ、声をかけ子供からの「Sign」を見逃ごすことがないように、声がけをしていきます。しかし、学校だけでは十分とは言えません。それには、学校と家庭との連携が不可欠です。今月は教育相談週間があり、三者又は二者の面談が予定されています。3年生は進路決定に向けての話が中心になりますが、この機会に、気になることがありましたら、担任に相談してください。また、学校には、教員だけでなく、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、さわやか相談員も勤務しております。教員には相談しにくい悩み等がありましたら、遠慮なく学校（教頭）までご連絡ください。また、相談窓口等は学校以外にもございます。いじめ等に関わることで学校には言いにくい場合は、本日配信する別添文書に各関係諸機関の連絡先がありますので、一人で悩まずご利用ください。

第52回体育祭「OVER THE TOP ～繋げ、先輩からのバトン～」

一週間前の当日の予報が雨だったり、日が近づくとつれ台風の影響を受けるか受けないか天候が気がかりだったりしましたが、当日は晴れ間ものぞく好天に恵まれ、体育祭を無事に開催することができました。そして、みなさん、素晴らしい体育祭をありがとうございました。

いい仲間と共にいい笑顔があふれる体育祭は、最高の思い出になったのではないのでしょうか。入場行進での吹奏楽部の演奏や手旗パフォーマンス、開会式での魂を込めた団長の選手宣誓。競技はもちろん、係の仕事にも、全力で取り組む姿。友だちや自分の団の先輩後輩を応援する姿、仲間と存分に楽しむ姿、閉会式の一番最後に力強く校歌を歌う姿など、人と人とのつながりがいかに大きな力を発揮するか改めて実感するとともに感動しました。皆さん、ありがとうございます。3年生が中心となって創り上げる最後の行事：体育祭が終わりました。全校で目指していた「日本一の体育祭」となったかどうかは、あなた自身の気持ち次第です。3年生が引っ張り、それについていった1、2年生も沢山の成長の跡が見られました。1、2年生が来年進級して、体育祭を創り上げる姿が今から楽しみです。体育祭、お疲れさまでした。